

# 県内企業の景況意識調査

(第185回)

- \* 2023年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み
- \* 2023年 7～9月期〈Ⅲ期〉の見通し

## 2018年1～3月期以来のプラス水準

今期（2023年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、前期比10.8ポイント上昇の+2.3となった。業種別のBSIは『建設業』『製造業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の5業種で改善し、『卸・小売業』は悪化した。

今期は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴う人流の回復によって、サービス業のうち観光関連企業の業況が大幅に改善し、全体の業況判断BSIは2018年1～3月期以来約5年ぶりのプラス水準となった。

来期（2023年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、今期比1.1ポイント上昇の+3.4となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『サービス業』の3業種で改善、『建設業』『金融・不動産業』『運輸業』の3業種で悪化する見通しである。

来期は、原材料価格高騰の影響への懸念が残るが、一部企業から価格上昇に一服感があるとの声も聞かれ、業況判断BSIは引き続きプラス水準の見通し。

### \* 2023年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み

- 製造業……………2期ぶりに改善
- 卸・小売業……………卸売業は悪化、小売業は改善
- 建設業……………2期ぶりに改善
- サービス業……………2期ぶりのプラス水準

## 2018年1～3月期以来のプラス水準

### ◎業況判断

【今期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：+ 2.3 (前期比+10.8㊦)

<内訳>

- ・よくなった 19.4% (前期比+ 5.4㊦)
- ・悪くなった 17.1% (前期比▲ 5.4㊦)
- ・変わらない 63.4% (前期比▲ 0.1㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：5業種 (『建設業』『製造業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』)
- ・前期比悪化：1業種 (『卸・小売業』)

今期は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したことに伴う人流の回復によって、サービス業のうち観光関連企業の業況が大幅に改善し、全体の業況判断BSIは2018年1～3月期以来約5年ぶりのプラス水準となった。

来期は、原材料価格高騰の影響への懸念が残るが、一部企業から価格上昇に一服感があるとの声も聞かれ、業況判断BSIは引き続きプラス水準の見通し。

【来期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：+ 3.4 (今期比+ 1.1㊦)

<内訳>

- ・よくなる 21.7% (今期比+ 2.3㊦)
- ・悪くなる 18.3% (今期比+ 1.2㊦)
- ・変わらない 60.0% (今期比▲ 3.4㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：3業種 (『製造業』『卸・小売業』『サービス業』)
- ・今期比悪化：3業種 (『建設業』『金融・不動産業』『運輸業』)

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+ 6.3 (前期比+13.6㊦)

6業種で改善

収益BSI：▲ 6.3 (前期比+ 9.4㊦)

4業種で改善

【来期】

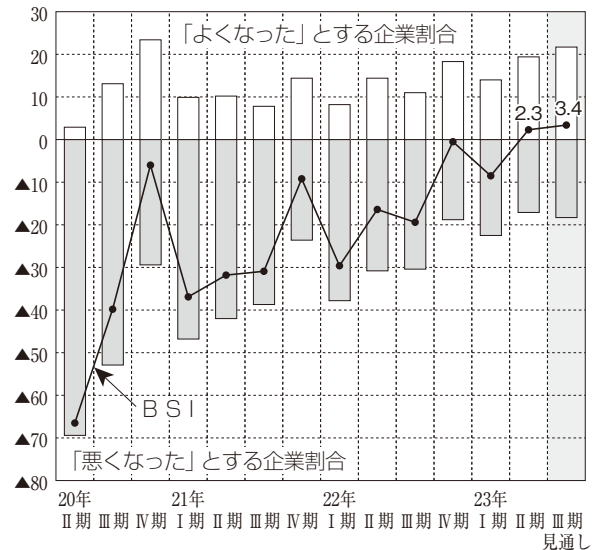
売上高BSI：+ 6.9 (今期比+ 0.6㊦)

2業種で改善見通し

収益BSI：▲ 6.3 (今期比± 0.0㊦)

2業種で改善見通し

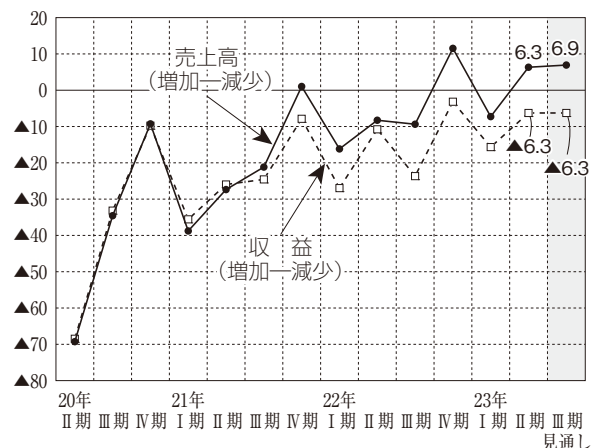
業況判断 ( B S I )



業況判断指数内訳 ( B S I )

	2022年 Ⅳ期	2023年 Ⅰ期	2023年 Ⅱ期	2023年 Ⅲ期見通し
建設業	▲ 7.7	▲ 8.0	0	▲ 7.7
製造業	5.9	▲ 7.1	▲ 1.8	7.3
卸・小売業	▲ 9.1	▲ 15.9	▲ 16.2	▲ 11.6
金融・不動産業	▲ 42.9	▲ 25.0	33.3	0.0
運輸業	▲ 16.7	9.1	25.0	8.3
サービス業	18.2	▲ 3.0	21.9	25.0
全産業	▲ 0.5	▲ 8.5	2.3	3.4

売上高と収益 ( B S I )



## ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

### 【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 7.5 (前期比▲ 1.2ポイント)  
5業種で低下

雇用者数の現状 B S I : ▲42.8 (前期比▲ 2.1ポイント)  
4業種で低下

### 【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 4.7 (今期比+ 2.8ポイント)

## ◎経営上の問題点

- 1位: 「原材料仕入価格高騰」(31.0%)
- 2位: 「売上不振」(24.4%)
- 3位: 「人手不足」(16.7%)
- 4位: 「人材不足」(10.7%)
- 5位: 「競争激化」(4.2%)

業種別にみると、「原材料仕入価格高騰」と回答した割合は、『建設業』が36.0%と特に高い。「売上不振」は『製造業』で35.2%と最も高くなっている。

## ◎設備投資実施割合

### 【今期】

実施企業の割合: 37.1% (前期比+ 0.6ポイント)  
2業種で増加

<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(60.9%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(15.6%)
- 3位: 「合理化・省力化」(14.1%)

### 【来期】

実施予定企業の割合: 36.6% (今期比▲ 0.5ポイント)  
1業種で減少見通し

<投資目的>

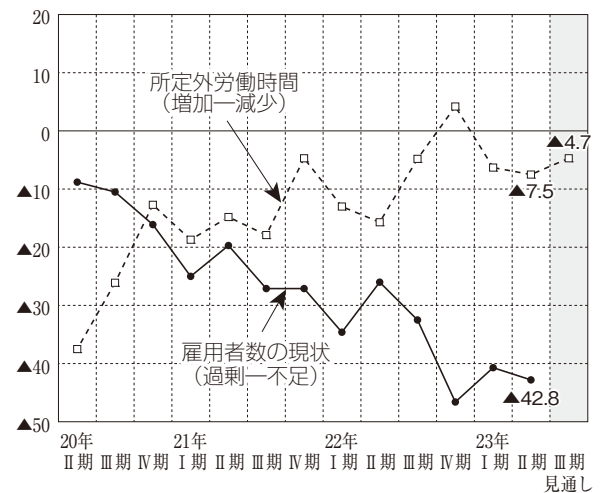
- 1位: 「補修・更新」(61.3%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(11.3%)
- 2位: 「合理化・省力化」(11.3%)

## ◎「2023年度の賃上げ実施」について

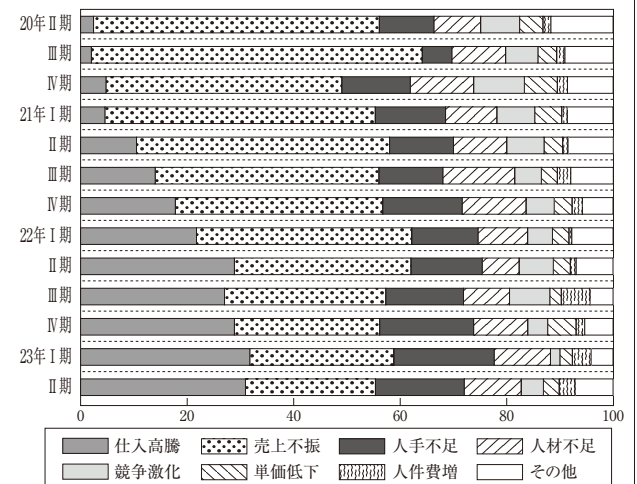
今回の調査において、「2023年度の賃上げ実施」について尋ねたところ、「例年より高い水準で実施済み・実施予定」が38.9%、「例年通りの水準で実施済み・実施予定」が37.1%、「例年より低い水準で実施済み・実施予定」が2.3%、「実施しない」が10.9%、「未定」が10.3%となった。

業種別にみると、「例年より高い水準で実施済み・実施予定」と回答した割合は『金融・不動産業』が50.0%と最も高く、次いで『運輸業』が41.7%、『建設業』が38.5%となった。

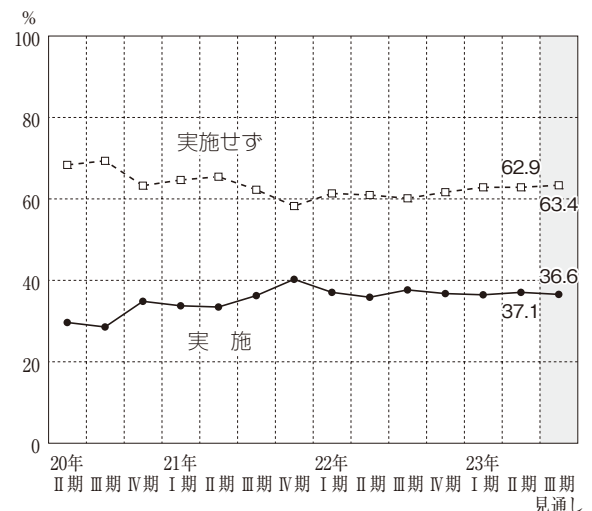
所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



## 2期ぶりに改善

### ◎業況判断

【今期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲ 1.8 (前期比+ 5.3㊦)

<内訳>

- ・よくなった 16.4% (前期比▲ 1.5㊦)
- ・悪くなった 18.2% (前期比▲ 6.8㊦)
- ・変わらない 65.5% (前期比+ 8.4㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：4業種 (「食料品」「木材・家具」  
「印刷・出版」「窯業・土石」)
- ・前期比悪化：4業種 (「化学・石油」  
「鉄・非鉄・金属」「機械」  
「その他」)

感染症の影響が軽減し、土産物需要が回復したことで「食料品」が改善したほか、原材料価格の上昇分を価格転嫁した「窯業・土石」が改善し、全体の業況判断も2期ぶりに改善した。

【来期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：+ 7.3 (今期比+ 9.1㊦)

<内訳>

- ・よくなる 25.5% (今期比+ 9.1㊦)
- ・悪くなる 18.2% (今期比± 0.0㊦)
- ・変わらない 56.4% (今期比▲ 9.1㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：5業種 (「化学・石油」  
「鉄・非鉄・金属」「機械」  
「食料品」「その他」)
- ・今期比悪化：2業種 (「木材・家具」  
「窯業・土石」)
- ・今期比不変：1業種 (「印刷・出版」)

木材市況の軟化に伴い「木材・家具」が悪化する見込みである一方、部品不足の解消から「機械」などが改善する見通しであり、来期の業況判断BSIは改善する見通し。

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+ 1.8 (前期比+ 1.8㊦)

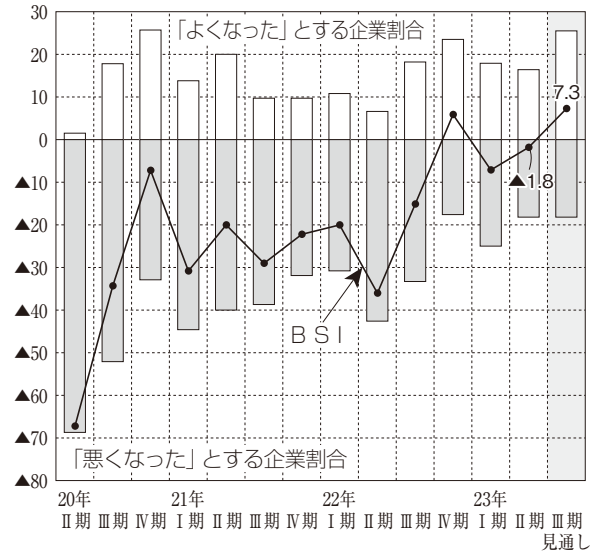
収益BSI：▲ 16.4 (前期比▲ 0.4㊦)

【来期】

売上高BSI：+ 16.3 (今期比+ 14.5㊦)

収益BSI：▲ 9.1 (今期比+ 7.3㊦)

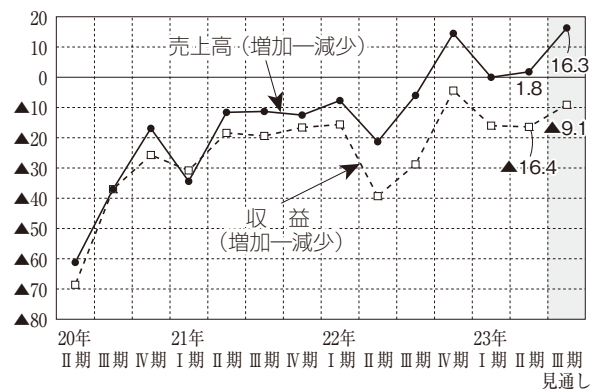
業況判断 ( B S I )



業況判断指数内訳 ( B S I )

	2022年Ⅳ期	2023年Ⅰ期	2023年Ⅱ期	2023年Ⅲ期見通し
化学・石油	0.0	25.0	▲25.0	0.0
鉄・非鉄・金属	0.0	▲33.3	▲40.0	0.0
機 械	15.0	14.3	0.0	6.2
食 料 品	35.8	0.0	27.3	36.4
木材・家具	0.0	▲28.6	▲16.6	▲33.3
印刷・出版	▲80.0	▲75.0	▲50.0	▲50.0
窯業・土石	▲33.3	▲33.3	33.3	0.0
そ の 他	14.3	16.7	16.6	50.0
製 造 業	5.9	▲ 7.1	▲ 1.8	7.3

売上高と収益 ( B S I )



## 卸売業は悪化、小売業は改善

## ◎業況判断

【今期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲22.7 (前期比▲12.2㊦)

&lt;内訳&gt;

- ・よくなった 9.1% (前期比▲6.7㊦)
- ・悪くなった 31.8% (前期比+5.5㊦)
- ・変わらない 59.1% (前期比+1.2㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲9.6 (前期比+10.4㊦)

&lt;内訳&gt;

- ・よくなった 19.0% (前期比+7.0㊦)
- ・悪くなった 28.6% (前期比▲3.4㊦)
- ・変わらない 52.4% (前期比▲3.6㊦)

卸売業では建材・住宅設備を扱う企業などの業況が悪化し、業況判断BSIが悪化した。小売業では人流の回復によって来店客数が増加し、業況判断BSIが改善した。

【来期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲18.2 (今期比+4.5㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲4.8 (今期比+4.8㊦)

卸売業、小売業ともに改善する見通し。外出機会の増加による消費意欲の高まりを期待する声があった。

## ◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲4.6 (前期比+11.2㊦)

収益BSI : ▲9.1 (前期比+11.9㊦)

【来期】

売上高BSI : +4.6 (今期比+9.2㊦)

収益BSI : ▲4.5 (今期比+4.6㊦)

## ◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : +4.8 (前期比+28.8㊦)

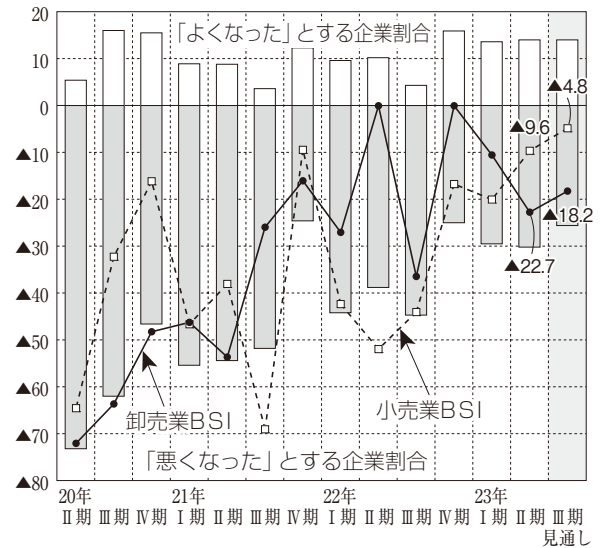
収益BSI : ▲9.5 (前期比+26.5㊦)

【来期】

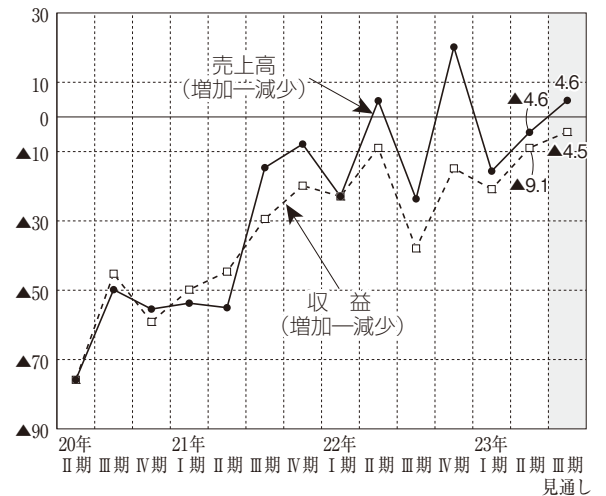
売上高BSI : ▲9.6 (今期比▲14.4㊦)

収益BSI : ▲19.1 (今期比▲9.6㊦)

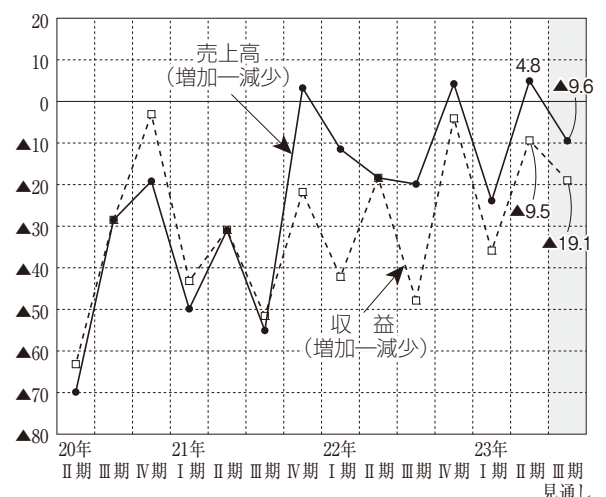
業況判断 (BSI)



【卸売業】売上高と収益 (BSI)



【小売業】売上高と収益 (BSI)



## 2期ぶりに改善

### ◎業況判断

**【今期】** (2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI : ± 0.0 (前期比+ 8.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 7.7% (前期比▲ 0.3㊦)
- ・悪くなった 7.7% (前期比▲ 8.3㊦)
- ・変わらない 84.6% (前期比+ 8.6㊦)

今期の業況判断BSIは2期ぶりに改善したが、「よくなった」との回答はごくわずかで、「変わらない」との回答が8割超を占めた。経営上の課題としては、人手不足を挙げる割合が低下した一方、仕入高騰を挙げる割合が上昇した。

**【来期】** (2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲ 7.7 (今期比▲ 7.7㊦)

<内訳>

- ・よくなる 11.5% (今期比+ 3.8㊦)
- ・悪くなる 19.2% (今期比+ 11.5㊦)
- ・変わらない 69.2% (今期比▲ 15.4㊦)

来期は改善する要素に乏しく、業況判断BSIは悪化する見通しである。

### ◎売上高と収益

**【今期】**

売上高BSI : ▲ 7.7 (前期比+ 4.3㊦)

収益BSI : ▲ 15.4 (前期比▲ 3.4㊦)

**【来期】**

売上高BSI : ▲ 19.3 (今期比▲ 11.6㊦)

収益BSI : ▲ 26.9 (今期比▲ 11.5㊦)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

**【今期】**

所定外労働時間BSI : ▲ 24.0 (前期比▲ 20.0㊦)

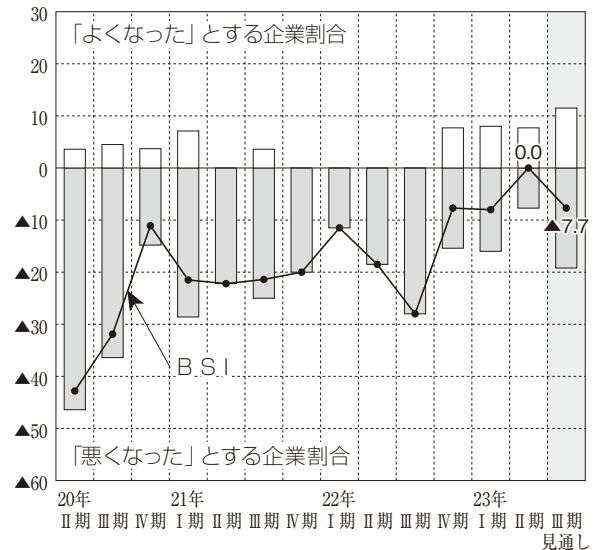
雇用者数の現状BSI : ▲ 72.0 (前期比+ 4.0㊦)

**【来期】**

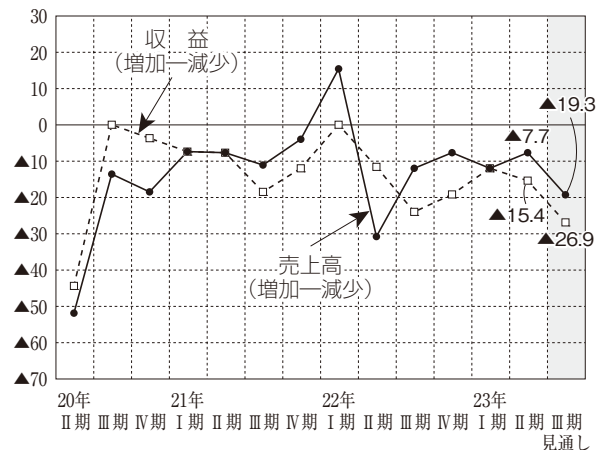
所定外労働時間BSI : ▲ 8.0 (今期比+ 16.0㊦)

雇用者数の現状BSIは上昇したが、前期に続き大幅なマイナス水準となった。来期の所定外労働時間BSIは上昇する見通し。

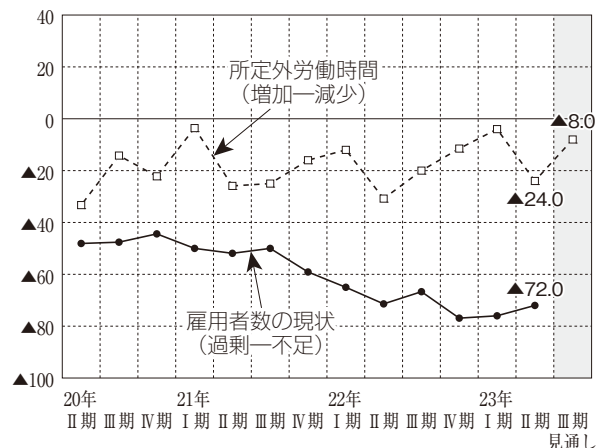
業況判断 ( B S I )



売上高と収益 ( B S I )



所定外労働時間と雇用者数の現状 ( B S I )



## 2期ぶりのプラス水準

### ◎業況判断

【今期】(2023年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI : +21.9 (前期比+24.9ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 34.4% (前期比+19.2ポイント)
- ・悪くなった 12.5% (前期比▲5.7ポイント)
- ・変わらない 53.1% (前期比▲13.6ポイント)

一部の企業で仕入価格や光熱費の高騰により業況が悪化しているものの、感染症の5類移行などにより観光需要が高まったことで観光関連の業況が大幅に改善し、全体では2期ぶりのプラス水準となった。

サービス業のうち観光関連の17社では、「よくなった」と回答した企業は前期比27.5ポイント増の58.8%、「悪くなった」と回答した企業はなかった。

観光関連以外の15社では、「よくなった」と回答した企業は6.7%、「悪くなった」と回答した企業は26.7%だった。

【来期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : +25.0 (今期比+3.1ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 34.4% (今期比±0.0ポイント)
- ・悪くなる 9.4% (今期比▲3.1ポイント)
- ・変わらない 56.3% (今期比+3.2ポイント)

### ◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : +21.8 (前期比+24.8ポイント)

収益BSI : +12.5 (前期比+15.5ポイント)

【来期】

売上高BSI : +22.6 (今期比+0.8ポイント)

収益BSI : +19.4 (今期比+6.9ポイント)

### ◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

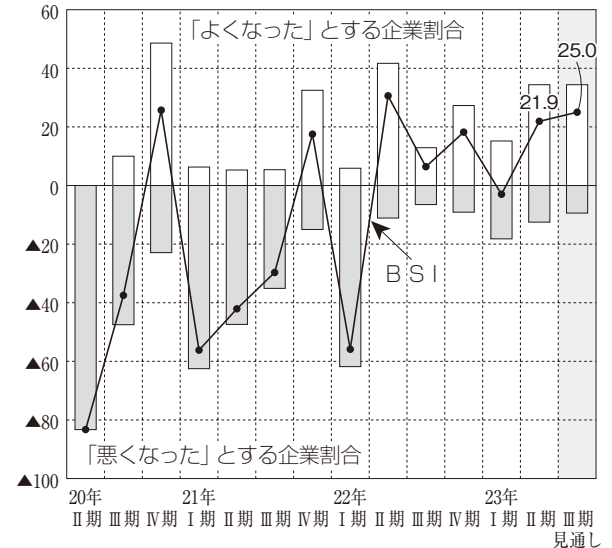
所定外労働時間BSI : +15.6 (前期比+21.7ポイント)

雇用者数の現状BSI : ▲62.5 (前期比▲14.0ポイント)

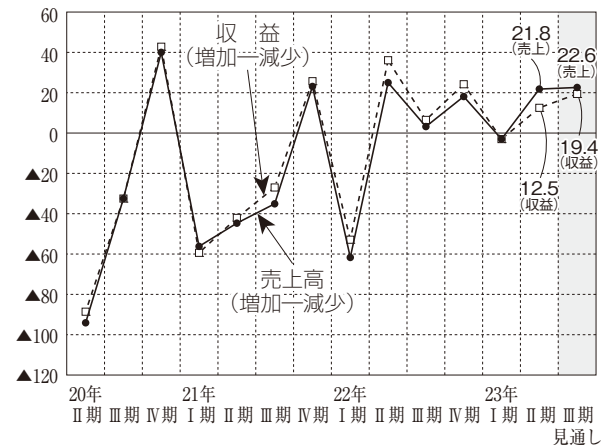
【来期】

所定外労働時間BSI : +12.5 (今期比▲3.1ポイント)

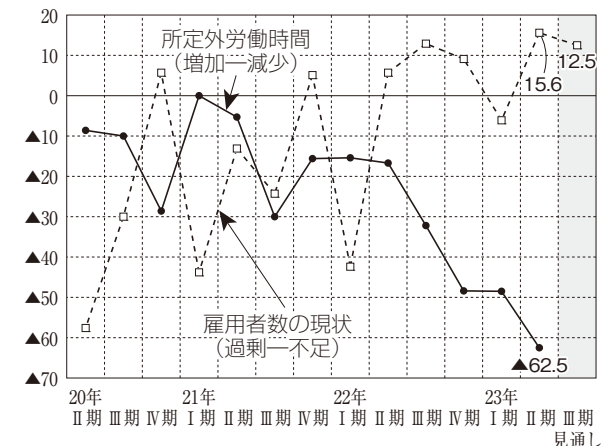
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



## BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③  $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

## 調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2023年5月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業422社

◎回答企業数 175社

・回答率 41.5%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	6.9%
資本金1千万円～1億円未満	69.1%
資本金1億円以上	12.0%
無回答	12.0%

おおいたの経済と経営 NO.394 7月号付録 2023年6月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階  
TEL (097) 533-8111 編集発行人 衛藤 健 印刷所 株式会社佐伯コミュニケーションズ